



卒業の季節、真光寺川を忘れないで!



真光寺川を清流にする会
世話人 山口拓郎

例年に比し長く寒さの厳しい冬だった。それでも3月、櫻が一斉に咲いた。3月は又卒業の季節でもある。真光寺川周辺の小、中学校からも多くの子ども達が巣立っていった。真光寺川で体験学習を積んだ子ども達だ。それぞれに長い人生の行程を歩んで行くことになる。その折々に真光寺川で遊んだ楽しい日々を思い出してほしいと願っている。

{ 2 月 }

2月10日(金) 東京のあすを創る協会のシンポジウム

「これからの地域のあり方」というテーマのシンポジウムにパネラーとして出席してほしいとの要請をうけた。

子ども達と真光寺川の関わりとそれを支え地域の人々の絆を中心に発表した。時間の制約があり思っていたことの半分も話せなかったことは残念だった。

2月12日(日) 定例日

例年2月は厳寒で作業が出来ないので自然探索を行うことになっている。今回は園師・小野路の谷戸を歩くことになった。

9時40分に鶴川駅に集合。バスで小野神社前へ。万松谷戸から神明谷戸、奈良ばい五反田谷戸と周辺の谷戸を歩く。

この辺り「北部丘陵」として町田市が一般公募し農業環境再生に着手している地域である。エコネットからも樋渡、岩上、桜井瀬川さん等が参加されている。

早春の空は澄み谷戸を渡る風は爽やかである。厳しい労働に耐えチャレンジされている方々には唯々脱帽である。

2月16日(木) 麻生総合高校・体験学習発表会

ご招待を受けた。12月、一年生12名が行った体験学習の発表会である。感想が聞きたかった。

生憎昼過ぎから雨が降り始めた。高校は平和台の反対斜面の辺りにある。かなり余裕

を持って出かけたつもりだったが学校の入口が見つからず大迂回する羽目になった。良い発表だった。最近の高校生の感性の一端にふれることができたように思った。

{ 3 月 }

3月1日(水) 鶴三小6年生の清掃作業 雨で中止

横山先生からお話があった。「環境問題を学習してきました。頭で判っているか不安です。真光寺川で清掃作業を体験し実感してもらいたいです」当日は夜明けから雨となり中止となった。

3月8日(水) 鶴三小6年生の清掃作業

先日、雨で中止となった作業の仕直し。早春の日射しは柔らかいが風は冷たい。

10時、下堰親水に集合、高橋、桜井、田中さんで対応する。4班に分かれて作業にかかる。子ども達は元気だ。水の冷たさなんか頓着しない。中には転んでずぶ濡れになった子どももいた。それでも大量のゴミを収穫し意気揚々と引き上げていった。

3月9日(木) 南東建との打合せ

10時から境川・鹿島橋周辺の清掃作業。JR町田駅の裏手の繁華街のど真ん中でゴミの量も多い。エコネットのメンバー数名と汗を流す。自転車も数台引き上げる。

作業終了後、松尾、山本、桜井さんと南東建の事務所へ。1月、五条池での打合せに基づき岩本工区長、松井さんが種々ご努力頂いた。池の側の水道設備も使えることになりそうだ。感謝して辞去する。

3月12日(日) 定例作業日

1~2月、休んだので今年になって初めての清掃作業である。快晴微風、水は少々冷たいが快い。市民大学環境講座を終了された太田、黒田さんが初参加される。心強い。流石にゴミは多い。終了後いちょう会館で反省会。

3月16日(木) 水サンプルの採集と鶴三小5年生・収穫祭

8時前に家を出る。平成橋の周辺の田圃、いよいよ宅地造成が始まる。真光寺川周辺では唯一豊かな湧水がある場所。自然が容赦なく破壊されていくのを傍観しているしかない自分に不甲斐なさを覚える。10時過ぎ、松前さんへ水サンプルを渡す。

午後は鶴三小5年生の収穫祭へ出席する。1月ほど前、手作りの招待状を頂く。昨年の「真光寺川まつり」で大事に育てた朝顔を販売し資金を得たので「清流の会」へ寄付したいとのこと。

狐窪の山内さんや米造りに協力された大塚さんも出席される。数班に分かれて校舎の裏庭でバーベキューをする。レンガを組んだ炉に炭火を起こす。鉄板の上にこぼれんばかりの野菜、もやし、ソーセイジそして豚肉。あたり一面は香ばしい匂いに包まれる。子ども達と至福の2時間。寄付金を頂戴して感謝!感謝!!



3月17日(金) 真光寺中卒業式

10時から体育館で第26回の卒業式。8名の少年少女達が巣立っていく。我々の時代に比して価値観が多様化して生きにくくなっているという。それぞれの人生を遅く歩んでほしいと願わずにはおれなかった。

3月23日(木) 鶴三小卒業式

2クラス52名が卒業して行く。校長先生から卒業証書を受け取る前に一人一人将来の抱負を大声で叫ぶ。サッカー選手を目指す者、看護婦を生涯の目的にする者、門出はそれぞれに希望に満ちている。谷川俊太郎作詞、山本直純作曲の校歌はいつ聴いても素晴らしい。

{ 4 月 }

4月8日(土) 鶴三小真光寺川ウォークの準備地域懇談会

今年で3回目になる。地域の行事として次第に定着しつつある。今年から学区の範囲も能ヶ谷、広袴の一部と広がってきた。町内会、自治会、老人会、市民団体、それにPTAの方々、三十数名集まる。担当の先生から従来のチェックポイントの大幅な変更が発表される。源流と観音寺周辺を加えることは賛成である。昔からの真光寺川の面影を残している美しい地域である。校長先生等も下見に行かれたようである。呉れぐれも安全には万全を期すよう進言する。真光寺川のおかげで「地域ぐるみで子ども達を育くむ絆」が次第に強められつつあることは何とも喜ばしいことだ。

4月9日(日) 定例作業日

快晴微風、いよいよ清掃の季節到来である。十数名、開戸親水に集合し手分けして作業にかかる。2m近い青大将がとぐるを巻いている。冬眠から覚め春の日射しを楽しんでいるのだろう。川も繁殖の季節を迎えようとしているようだ。終了後いちょう会館で反省会。話題が尽きなかった。

(この項おわり)